

問

産院が無くても安心して出産できる環境整備のため無痛分娩費用補助を設ける考えがあるか。現状、妊婦が自由に医療機関や分娩方法を選択できる状況にはないため、制度創設は時期尚早と考えている。

答



ない。直ちに新たな制度を設ける予定はないが、実態なども踏まえながら支援の必要性について検討していく。

小中学校での熊対策について

問

熊出没の影響により、体育の授業や休日の屋外活動が制限され、児童生徒の心身の健康への影響が懸念される。心身の健康を維持するための具体的な対策について伺う。

答

市教育委員会としても、子供たちの体力低下やストレスの増大が懸念される状況と認識している。状況に応じて屋外での活動に切り替えるなど、適切な対応がなされるよう、引き続き各校に働きかけていく。

問

本市はスキーと駅伝のまちを掲げている。アルペンスキーへの補助はあるが、クロスカントリースキーを対象とした支援・補助は現在あるか。また、無い場合は新たに補助を設ける考えはあるか。

答

クロスカントリースキーを対象とした用具の購入やレンタルに対する補助は現在

質問した項目

- 無痛分娩に関して
- 小中学校統廃合に関する鹿角市の考え及び展望について
- 小中学校でのクマ対策について
- 義務教育におけるクロスカントリースキー用具の購入・レンタル補助等に関する保護者負担軽減について



QRコードはここから

奈良 明日香 議員 (新時代かづの)

質問時間 30分

問

子育て短期支援事業の利用実績とその評価を問う。実績は過去1件のみ。委託先が市外1施設に限られ利用が進まなかったため、現在は市内の里親や児童養護施設を追加している。

答



こども計画について

問

不登校児童生徒数が年々増加しているが、どのような対応をしているか。

答

本市の不登校出現率は、全国及び県の平均より低いが増加傾向にある。「こもれび教室」では、学習意欲を高めながら、自立心や社会性等を育て、学校生活に復帰する手助けや居場所づくりに努めている。「こもれび相談」では、臨床心理士が悩みを抱える児童生徒と保護者の相談活動を行っている。

問

また、関係機関との情報交換や、毎月のいじめ・不登校調査による状況把握のほか、県からスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが派遣され、児童生徒の支援を行っている。

答

こころの健康づくり推進事業では、児童生徒への講座の実施により、どのような効果が得られているのか。SOSの出し方講座は、子供たちが問題や悩みを抱えた時に、相談して援助を求める力や、生きるためのスキルの向上を目的とする。受講後、子供自身が相談したことで解決につながった事例もある。



QRコードはここから

成田 哲男 議員 (誠心会)

質問時間 30分

質問した項目

- こども計画について
- 空き家対策計画について
- ツキノワグマ被害防止等について
- ごみ処理の広域化について